

# 令和5年度 学校経営の改革方針

学 校 名	津市立豊津小学校	校長名	堀内 百合
児童・生徒数	157名	学級数	8学級
<p><b>1 めざす学校像</b>          学校教育目標 「心やさしく 創造力豊かな 子どもの育成」                            ○学力保障   ○児童理解   ○チーム豊津          めざす子ども像 「人権感覚豊かな 自分も他人も大切に子ども」                            「自分の思いや考えを伝え合い、高め合う子ども」                            「基本的生活習慣を身につけ、たくましく生きる子ども」</p>			
<p><b>2 現状と課題</b>          ◆生徒指導、自然災害、感染防止を含め、様々な学校危機が想定される中、常日頃から危機管理意識をもって教育活動を行うことで、危機に備えた安全・安心な学校づくりを進めている。          ◆人権・生命尊重の教育を推進している。今後も、互いに共感できる仲間づくり、いじめや差別を許さない態度・能力を育成する取組を行い、家庭及び児童養護施設との連携を密にする。          ◆学力・学習状況調査の結果、「話す・聞く能力」に課題がある。一人一台端末を効果的に活用し、論理的に思考し、自らの考えを表現できる児童の育成を図るため、授業改善に努める。          ◆基本的生活習慣の定着のため、家庭生活の現状把握に努めている。保護者と連携しながら「メディアを考える週間」の取組を行い、さらにきめ細かな指導を行う必要がある。</p>			
<p><b>3 重点目標</b>          (1) 危機に備えた安心・安全な学校づくりに努める。          (2) 仲間とつながる人権教育・心の教育を推進する。          (3) 児童の学力保障のための取組を推進する。          (4) 教職員の資質向上・授業力向上に努める。          (5) 教職員と児童・保護者・児童養護施設・地域との信頼関係を深める。          (6) 教職員の心身健康維持のため、勤務時間の縮減を図る。</p>			
<p><b>4 具体的な行動計画</b>          (1) 危機に備えた安心・安全な学校づくりの推進              ・「報・連・相」の励行と習慣化を図ると共に、全ての教職員が情報を共有し、常に組織で課題にあたるようにする。              ・新型コロナウイルス感染防止に努めるとともに、感染症に対する正しい理解を図る。              ・教職員の危機管理意識の向上を図る。特に、大地震による津波から児童の命を守るため、計画的な避難訓練の実施、外部団体や地域と連携した防災教育の取り組みに力を入れる。          (2) 児童一人一人が、様々な思いを持って、生活していることを分かり合う人権学習の充実に取り組むと共に、いじめや差別を許さない仲間づくりを進める。          (3) 「とよつっ子☆人権デー」「豊津小学校区子ども支援ネットワーク」の取組による児童、保護者・地域住民の人権意識の向上を図る。          (4) 一人一台端末を効果的に活用し、学び合う児童を育む授業力の向上に努めるとともに、読書習慣や「自学ノート」の充実、及び「個別最適化指導」による基礎基本の定着を図る。          (5) 児童の「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、的確な「めあて」の提示と「振り返り」を工夫する。「ペア学習・グループ学習」の効果的な活用、「話す・聞く」能力を高める取組を進め、自己の未来に活かせる学びの基礎基本を育む。          (6) 「メディアを考える週間」の取組等により、計画的に学習を進め、家庭学習を習慣化させるよう家庭への啓発を行う。          (7) 学校運営協議会と連携した学校運営を機能させつつ、保護者・自治会・民政児童委員、児童養護施設、放課後デイサービス等との連携を図る。          (8) 総勤務時間縮減の取組を促進する。              ・行事の次年度計画案を行事実施直後に作成するPDCAサイクルにより、学校運営の効率化を目指す。              ・月45時間、年間360時間を超えないことを意識し、90分以内に終了する会議の割合を80%以上、定時退校者の割合を昨年度より20%増やす。              ・個々の教職員の生活実態に即した「定時退校日」を週1回、全職員を月1回設定する。              ・昨年度比で休暇取得日数を年間3日増加する。</p>			